

「ヤングケアラー」研修会

～ヤングケアラーを知っていますか～

＜地域支援者向け研修会・オンライン併用＞

日 程

＜第1回＞ **11月27日(日)** 午後1時30分～3時30分

＜第2回＞ **11月29日(火)** 午後1時30分～3時30分

※第1回、第2回ともに内容は一緒です。

申込締切 11月21日(月)

会 場

長野市ふれあい福祉センター5階「ホール」

◆新型コロナウイルス感染症対策のため、Zoomによるオンライン受講を併用します。

講 師

持田 恭子 氏

(一般社団法人ケアラーアクションネットワーク協会 代表理事)

《ご来場にあたってのお願い》

- ◆新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては内容や開催方法の変更、中止の可能性があります。あらかじめご了承ください。
- ◆当日はマスク着用にてご参加ください。

プロフィール

小学生の時から母親の感情面のサポートとダウン症のある兄の世話をしてきた元ヤングケアラー。社会人になってからも母親の在宅介護と兄の世話をし続けた。

現在は、ヤングケアラー支援、若者ケアラー人材育成、学校や行政に向けた教材提供、講師活動、会員交流会等を行っている。



申込方法

右のQRコードまたはEメールでお申し込みください。

Eメールアドレス ko-fukushi@city.nagano.lg.jp

- | | | |
|--------|---------|-------------|
| ①参加者名 | ②所属 | ③電話番号 |
| ④参加希望日 | ⑤希望参加方法 | ⑥オンライン用アドレス |



【申込み・問合せ】

子ども・若者ケアラー庁内プロジェクトチーム（事務局）長野市子育て家庭福祉課 担当：柗津
TEL 026-224-7062 FAX 026-224-7698 Eメール ko-fukushi@city.nagano.lg.jp

令和4年 月 日

子育て家庭福祉課長 宛

所属名 _____

報告者 _____

連絡先 _____

開催日時 開催日時 **<第1回> 11月27日(日) 午後1時30分～3時30分**
<第2回> 11月29日(火) 午後1時30分～3時30分
※申込締切 11月21日(月)

団体名	職名	氏名	希望日	参加方法	オンライン用アドレス

※申込締切:**11月21日(月)**
申込方法: Eメール(ko-fukushi@city.nagano.lg.jp)宛てに送信してください。
なお、メッセージのタイトルは「ヤングケラー研修会参加申込書」としてください。

令和 4 年 9 月 26 日(月) 長野市介護支援専門員研修会

【講師へのQ&A】

Q1	<p>Q 電話やメールで、利用者の事を詳しく知る方法、質問のしかたなど知りたい。</p> <p>A</p> <p>電話で話を聞きながらジェノグラムやエコマップを書くと、相手の話が整理でき、質問も的確になる可能性は高まるので、話が弾んだり続いたりしやすいです。相談者が話をちゃんと聞いてもらえたとかこの人は理解しようとしてくれているなどと思ってくれる確率は高まるので訪問や面接の提案をしたときに受け入れてもらえる可能性は高くなります。メールでは、書かれた内容をジェノグラムに書き直して返信すると次につながりやすいと感じています。(寺本先生)</p> <p>電話での質問のしかたについて。電話は相手の表情が見えないことから、対面以上にコミュニケーションスキルを必要とします。会話の始まりは、どうしても緊張してしまうので、相手が答えやすい質問の仕方を工夫することが必要かと思います。会話の始まりは、「このようなお話は初めてされますか？」などのクローズド・クエスチョンが有効です。いくつかクローズド・クエスチョンを重ねたあと、会話を広げていくオープンクエスチョンを使うと効果的です。質問をシンプルな形にして、相手が答えやすい状況を作っていくとよりたくさん情報が得られると思います。(高名先生)</p>
Q2	<p>Q 家族理解、家族史の重要性と必要性は承知の上で・・・私たちの立場からは家族の構造を理解は必要ですが、相談者の立場になった時、初回の面接でどこまで自分のプライバシーを開示しなければいけないのでしょうか？(結婚という事実だけでなく、馴れ初めまで話した方がいいのでしょうか？)</p> <p>Q 一見関係ない家族のことについて、アセスメントして、嫌がられないのか？</p> <p>Q ジェノグラムを書くにあたって、例えば、奥様側の兄弟の職業や年齢を聞くことに抵抗があります。ぜひ必要なのでしょうか？</p> <p>A</p> <p>私は相談者に対して「あなたの悩みを一緒に考えたり解決の糸口を探ったりしたいので、あなたのことをちゃんと知りたいのです。あなたのことを理解するためにお話を聞かせていただいていいですか？」と言ってジェノグラムを書くことの理解をえます。一緒にジェノグラムを書いていくと、こちらから根掘り葉掘り聞かなくとも自発的に話してくれるという印象があります。ジェノグラムを見ているところは話したくないのだなという部分や眼中にないのだなということもわかってきます。その部分は相談者の様子を見ながら、ちょっと突っ込んで「ここはどうですか」とペンで指すこともできます。それでもお話しされないところはよほど触れたくないことなのだとわかるわけです。無理にこじ開けなくても面接を重ねていくと、やっと話してくれたなという時が来ます。ジェノグラムで面接をすることで信頼関係は作りやすいのですが、ある程度信頼関係ができてからでないと話したくないことは誰にもあると思うので、タイミングを計るのは大事ですね。裏返せば、こちらの都合で聞きたい情報ばかりを質問してしまう危険性を防止できるのもジェノグラムだといえます。(寺本先生)</p> <p>年齢や職業を「聞き出そう」と身構えず、会話の自然な流れの中で、目の前のジェノグラムを元に「この方は何歳ですか」「どんなお仕事をされていますか」と聴いていきます。答えたくないこともあるでしょうし、知らないこともあると思います。その部分は「ここは聞かれたくないのだな」「ここはよくわからないのだな」とわかります。そんなことがわかることもアセスメント情報のひとつだと思います。会話のやりとり、コミュニケーション技術も必要ですね。(高名先生)</p>

Q3	<p>Q 家族を調整するという言葉が新しく、自分でそこまで気持ちがいていかなかったと思います。家族に苦労する事もあります。もう少し詳しく知るには、どの著書が良いですか？</p> <p>A</p> <p>家族を調整するというのはおこがましい言い方でした。</p> <p>家族自身が援助者と一緒にジェノグラムを書くことで、このままでもいいなと思ったり、ちょっとここは変えたいなと思ったりするのです。変えたいなと思ったときにどういう家族でありたいのか？どう変えたいのか？そのためにはどうすればいいのか、自分たちで考えて実行する家族もたくさんいるのですが、自分たちだけでは戸惑ってしまう家族も多く、一緒に考える人が必要な時があります。家族の意向に沿って何か手助けが必要な時、なにか支援をする場合、家族を調整するという言葉を使うことがあります。家族の意向や家族の話し合い、一致などが前提で支援者が勝手に調整したり指示を出したりはしないと思っています。</p> <p>参考文献として上げた著書のなかで、団士郎さんの「対人援助職のための家族理解入門」がよいと思います。文字通り「入門編」ですので、ぜひ読んでみてください。また団士郎さんは、全国で「家族理解のワークショップ」を開催されています。ホームページもありますので一度閲覧してみてください。オンラインでも講座をされています。</p> <p>他には、「対人援助職のためのジェノグラム入門」中央法規・早樫一男編著、その姉妹本「ジェノグラムを活用した相談面接入門」早樫一男編著 千葉晁央・寺本紀子著 ご参考になさってください。</p>
Q4	<p>Q 境界が、いまひとつ理解できなかった。</p> <p>A</p> <p>世代間境界と内と外との境界があります。</p> <p>世代間境界は、サブシステムとも関連してみるとわかりやすいと思います。すみ子さんの場合、早くに夫が亡くなり、その後夫婦サブシステムを持たずに来ました。次第に息子に、夫が生きていれば求めたような役割を課した可能性があります。そのことから息子さんの夫婦サブシステムが形成されなかった可能性が見えてきます。息子とすみ子さんの世代間境界が程よくひかれた状態とは言えません。</p> <p>また、内と外との境界では、家族の外側の人である妻の実母の介入が夫婦サブシステムの形成を阻んでいる可能性があります。夫婦で話し合ったり解決するよりも実母に相談したり頼ったり。この夫婦は世代間境界が程よく引かれず、外からの強い影響力を受けて夫婦サブシステムを中心とした家族を作り損ねているように見えます。</p>
Q5	<p>Q 初回アセスメントはコロナ禍であっても、自宅面接が必要だと思うのですが、サービス導入に向けての根回しだったから、自宅でない場所での面談を提案したのでしょうか？</p> <p>A</p> <p>息子さんのお話から本人がサービスを利用したら解決する課題ではない、今は、サービス導入目的の面接ではないと判断し、息子さんご夫婦の課題(夫婦で合意して決める、その前提となる夫婦のコミュニケーションがうまくいっていないなど)を息子さん夫婦と一緒に整理してみようと思ったのです。すみ子さんがある自宅ではない方がよいと判断しました。</p>

Q6	<p>Q 事例のすみ子様は、どうしてデイに行くのを嫌がっていたのか、その辺りのご本人の気持ちも恵一様の情報から聞いてみたかった。</p> <p>A</p> <p>すみさんがどうしてデイに行くのを嫌がっているか聞いたところ、息子さんは「昔から人付き合いが嫌いで人が集まっているところには出たくない人です。今に始まったことではないです」とお話しされました。妻に迫られ形式的にすみさんに勧めていることがこのことから推察できました。この「聞いてみたい」というセンサーが大事ですね。</p>
Q7	<p>Q パターン図の作り方、どんなことに一番に注目するのか？</p> <p>A</p> <p>面接の中で、相談者が困っていることをまず丸の中に書きます。相談者の語りから連鎖が起こっていることを一項目づつ丸の中に書いていきます。相談者と確認しながら。</p> <p>例えば、</p> <p>よく転ぶ→①こたつに入ったまま動かない→②足の筋力が低下→③排泄の失敗の頻度があがる→④息子に叱られる→⑤落ち込む→⑥生きているのが嫌になる→①こたつから動かず夜もそのまま寝る。</p> <p>次にどこの番号の→で変化をつくるかを一緒に考えます。相談者は、ここはどうしても無理という部分と、ここなら変えてもいいかなという部分を教えてください。どうしても無理な部分がコアな問題の場合が多いのでそこから取り組もうと提案しがちで、なかなか変化を作り出せないのですが、このパターン図を使うとコアではないけど悪循環の一部となっているところ、できそうなところに変化を作り出すことができるので無理がありません。変化を作り出せるとシステムは連動して変化を起こすという考え方です。できそうなことからすればいい、それでもシステムに変化が起きることには変わりはないのですから無理をする必要はありません。</p>
Q8	<p>Q ジェノグラムはモニタリングのたびに追加しているのでしょうか？</p> <p>A</p> <p>そうです。必ず日付を入れていつのジェノグラムかわかるようにします。ジェノグラムに変化がなくてもエコマップに変化があったりもします。追加しなければならないと考えるのではなく、少しの変化もちゃんととらえることのできる感性を持っていたいと思います。とらえたら記録しておきましょう。</p>

【長野市へのQ&A】

Q1	<p>Q 個別避難計画について今後受託事業となるとの事で事業者ごとの契約となるのでしょうか？</p> <p>A 法人と委託契約を結ぶ想定です。</p>
Q2	<p>Q 個別避難計画について、シートの作成まではイメージできるが、避難支援等実施者とのやりとり（協力依頼など）等は誰が行うようになりますか？</p> <p>A 作成業務マニュアルを用意しています。Q&Aにはご質問内容に対応したものをご用意しており、必要に応じて連絡調整いただく場合があります。</p>
Q3	<p>Q 個別避難計画の更新見直しについては、どのように行いますか？</p> <p>A 変更が生じた時とします。</p> <p>本人、避難支援等実施者、作成支援をした福祉事業所から市へ相談いただき、対応したいと考えています。</p>
Q4	<p>Q 福祉専門職との連携による個別避難計画の提供が良く分かりませんでした。もっと詳しく知りたいです。</p> <p>A 各地区で開催予定の説明会の折に改めてご質問ください。</p>
Q5	<p>Q 個別避難計画の作成、委託を受けないことは可能か、又、受けないことで減算等のペナルティはあるのでしょうか？</p> <p>A 作成業務マニュアルを用意しています。受託しない場合は、その旨を所定の意向確認書で提出いただく必要があります。受託しないことに伴う事業所へのペナルティはありませんが、対象者の計画作成が、本人作成もしくは地域記入によるこれまで扱いになるため、計画作成が遅れることが予測されます。</p>

事務連絡
令和4年10月4日

長野県健康福祉部
介護支援課長 殿

長野労働局労働基準部
健康安全課長

介護施設における労働安全衛生対策に関する支援措置について（周知）

平素から、労働安全衛生行政をはじめ、長野労働局の行政運営に御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、介護施設における労働安全衛生対策に活用できる支援措置を別紙のとおりとりまとめました。周知に御協力いただければ幸いです。

なお、1の（1）の中小規模事業場安全衛生サポート事業については、労働安全衛生対策全般を対象とした事業ですが、個別支援及び集団支援のいずれについても、例えばスライディングシートの使用など移乗介護における腰痛予防対策の実技指導も含め、対応しうる事業内容となっております。

関係の支援措置について

1 中小規模事業場安全衛生サポート事業等（補助事業者：中央労働災害防止協会）

「中災防：中小規模事業場安全衛生サポート事業 - 中央労働災害防止協会」：

<https://www.jisha.or.jp/chusho/support.html>

（1）中小規模事業場安全衛生サポート事業

原則として労働者数が概ね 100 人未満の製造業、第3次産業及び鉱業の業種で、労災保険適用の事業場を対象に、①個別支援、②集団支援を無料で実施

（2）企業・業界団体等安全衛生総合支援事業

目的：企業・企業集団・業界団体等の本部及び個別事業場（店舗や工場など）の

双方を対象に、安全衛生サービスを提供し、安全衛生の向上を目指す事業

対象：① 業種・・・第三次産業（小売業、飲食店、社会福祉施設等）、製造業

② 対象企業等・・・多店舗展開の企業、企業グループ、業界団体

③ 事業場・・・構成する店舗・事業場の大半が 300 人未満であり、かつ、
店舗・事業場数が、10 以上（店舗では 20 以上）が望ましい

支援期間：原則 2 年間

2 長野産業保健総合支援センター（厚生労働省所管の労働者健康安全機構）

<https://www.naganos.johas.go.jp/>

（1）長野産業保健総合支援センター（長野市中御所）の事業内容

産業医・保健師・看護師・事業主・衛生管理者・人事労務担当者などの産業保健関係者や、県内にある地域産業保健センターなどの産業保健機関に対する支援活動を実施（原則無料）。

- ・産業保健関係者に対する専門的研修等
- ・産業保健関係者からの専門的相談対応
- ・メンタルヘルス対策普及促進のための訪問支援
- ・治療と仕事の両立支援
- ・産業保健に関する情報提供・広報啓発
- ・事業主・各団体が主催する啓発セミナーの支援

（2）地域産業保健センター（地域窓口）の事業内容

県内全 9 つの労働基準監督署の管轄区域ごとに相談窓口を設置し、産業医の選任義務のない従業員 50 人未満の職場の事業主や従業員を対象に、医師・保健師による健康相談や面接指導などのサービスを無料で実施。

- ・労働者の健康管理（メンタルヘルスを含む）に係る相談
- ・健康診断の結果についての医師からの意見聴取
- ・長時間労働者に対する面接指導
- ・ストレスチェックに係る高ストレス者に対する面接指導

3 外国人在留支援センター 安全衛生班（厚生労働省委託事業）

外国人在留支援センター安全衛生班では、外国人労働者を雇用する事業主及び外国人労働者の皆様からの、安全衛生教育や労働災害防止対策についてのご質問にお答えしています。ご相談・個別支援は無料です。

（令和4年度委託先：東京労働基準協会連合会）

日本語 <https://www.toukiren.or.jp/fresc/>

英語 https://www.toukiren.or.jp/fresc/index_en.html

中国語 https://www.toukiren.or.jp/fresc/index_ch.html

4 人材確保等支援助成金（介護福祉機器助成コース・目標達成助成）

介護事業主が介護福祉機器の導入を通じて、離職率の低下に取り組んだ場合（従業員の離職率の低下が図られた場合）に助成対象となります。

<https://www.mhlw.go.jp/content/11600000/000783293.pdf>

※ 介護労働者の身体的負担を軽減するために新たに介護福祉機器を導入し、適切な運用を行うことで労働環境の改善が見られた場合に支給していた「機器導入助成」は、令和3年3月31日で廃止されました。



発第 1129 号（保険）
令和 4 年 10 月 14 日

長野県健康福祉部長 殿

長野県医師会長
竹 重 王 仁

令和 4 年度介護事業所医療対応力向上研修会の開催について

本会では、地域医療介護総合確保基金を活用し、介護老人福祉施設や介護老人保健施設、訪問看護ステーション、介護医療院等に勤務する介護・看護職を対象に、医療知識を習得し日常業務に役立ててもらうことを目的とした研修会を下記のとおり開催することといたしました。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から参集範囲を北信地域のみとし、その他の地域の方々は、研修会を収録したものを、後日、長野県医師会 Youtube チャンネルにて配信する予定ですので、そちらをご案内いただきますようお願いいたします。

つきましては、関係団体への周知についてご配慮をお願い申し上げますとともに、受講希望がございましたら別紙により 11 月 22 日（火） までに長野県医師会へ FAX 又はメールにてご報告いただきますようお願いいたします。

なお、県内の新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては講演の収録のみ（会場の参集なしで北信地域の方も Youtube で視聴）とする場合がありますのでご了承ください。

記

日 時 令和 4 年 12 月 8 日（木）午後 2 時 30 分～午後 4 時 30 分
場 所 ホテル国際 21 3 階「千歳」
長野市県町 576 TEL026-234-1111

- ・定員 : 70 名（北信地域のみ 定員になり次第締め切り）
- ・次第 : 別紙のとおり
- ・受講料 : 無料

「長野県医師会 Youtube チャンネル」

<https://www.youtube.com/channel/UCDCD8utXy80ebn5tcd6sLjg>

※研修会終了後、動画等編集を行い 1 週間後には掲載予定です。

受講ができなかった北信地域の方々や、その他地域の方々は上記チャンネルから視聴いただきますようお願いいたします。

（添付資料）

- ・次第
- ・報告用紙

介護事業所医療対応力向上研修会 次第

日時：令和4年12月8日(木)

午後2時30分～午後4時30分

場所：長野市 ホテル国際21

開 会

講 演Ⅰ

「オーラルフレイル及び認知症対策等について」

講師 長野県健康福祉部健康増進課

歯科口腔保健推進医監 田上 真理子 様

長野県健康福祉部介護支援課

主任保健師 小澤 文乃 様

主事 柳澤 佑輔 様

講 演Ⅱ

「歯科訪問診療における食と口腔の支援」

講師 長野県歯科医師会 地域保健部 理事

中村 隆 先生

閉 会

介護事業所医療対応力向上研修会 受講者名簿

日時：令和4年12月8日（木）14：30

場所：長野市 ホテル国際21

No	出席者名	フリガナ	職種	介護施設・医療機関名	電話番号
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

出席者をご記入の上、11月22日（火）までにご返送ください。

Mail hoken@nagano.med.or.jp / Fax 026-235-6120





保険医療課 高橋 宛

令和4年度介護のしごと魅力発信等事業ニュースレター 10月号

厚生労働省ではたくさんの人に福祉・介護の仕事について知ってもらい、関心を持ってもらうために様々な情報発信を行う「介護のしごと魅力発信等事業」を行っています。このニュースレターでは、魅力発信事業として行われるイベントやWebサイト・動画コンテンツなどについてご紹介します。

イベントへの参加やWebサイトへのアクセス・シェアをお待ちしております！

近日開催のイベント

開催日時	イベント名/イベント内容	開催概要	申込・視聴 サイトリンク
11/1 (火) ～11/14 (月) 10:00～18:00	介護の日ポスター・チラシ展示会 介護の日（11月11日）を中心に各都道府県で開催される介護人材確保に関するイベントのポスター・チラシの展示会を開催します。会場では印象に残ったポスター・チラシをアンケート形式で投票いただけます。イベント当日の様様取材し、YouTubeや「ゆうゆうLife」などのWebサイトで後日公開します。	株式会社産業経済新聞社 参加対象 どなたでも 開催場所 大手町サンケイビル展示スペース (東京都千代田区大手町1-7-2東京サンケイビル)	情報はこちら ゆうゆうLife 
11/10 (木) 19:00～21:00	介護事業者向けウェビナー 「介護事業者向け採用・離職対策 好事例から学ぶ！ #4 地域密着での働き手の探し方」 介護人材の確保に取り組んでいる介護事業者をお招きし、働きやすい職場づくり、マネジメント面の改善などの実際の事例を交えて「人手不足感を乗り越えるためのメソッド」を伝えるウェビナーを開催します。 第4回は「地域密着での働き手の探し方」をテーマに開催します。	株式会社朝日新聞社 申込期間 ～11月10日 参加対象 介護現場で働く方 定員 なし 開催場所 Zoomウェビナー	お申込はこちら 申込サイト 
11/12 (土) 11:00～12:00	映像と会話で学ぶ福祉・介護の世界 俳優の戸塚純貴氏、介護福祉の現場で活躍する方をゲストに招き、介護に関するミニ番組の視聴や、若年層の介護福祉への参加をテーマとした対話を行う対面イベント（公開収録）を開催します。	株式会社産業経済新聞社 申込期間 ～11月1日 参加対象 どなたでも 定員 100名 開催場所 都内某所（当選者の方のみメールでお知らせ）	お申込はこちら 申込サイト 
11/13 (日) 10:35頃 ～11:15頃	「働く」と「子育て」のこれからを考える 大規模イベント「WORKO！フェス」 40代の子育て層が主な対象のイベント「WORKO！フェス」にて、「映画『ケアニン』からひも解く福祉・介護の仕事の魅力」をテーマに、同作に介護福祉士役で出演する俳優の戸塚純貴氏、介護福祉士でモデルの上条百里奈氏、株式会社あおいけあ代表取締役の加藤忠相氏によるトークショーを行います。介護の仕事の魅力・やりがいや多様な働き方についてご紹介します。	株式会社朝日新聞社 申込期間 ～11月13日 参加対象 主に40代の子育て層 定員 なし 開催場所 オンライン	お申込はこちら 申込サイト 

⇒次頁にSNS更新情報等を掲載しています

介護のしごと魅力発信等事業の関連ウェブコンテンツ更新情報

SNS・Webサイト更新情報

サイトリンク

「これからのKAIGO事業ポータルサイト」にて動画「介護に関する入門的研修のススメ」を配信中

株式会社朝日新聞社

視聴サイトはこちら
[YouTube視聴ページ](#)



動画「介護に関する入門的研修のススメ」では、高齢者が福祉・介護の仕事で働くことのメリットを学ぶことができます。また、入門的研修の一部カリキュラムや、介護施設のオンライン見学なども紹介。介護の仕事の魅力について、より深く知ることができます。

公式サイト「ゆうゆうLife」にて「イベント」に関する記事を配信

株式会社産業経済新聞社

公式サイトはこちら
[ゆうゆうLife](#)



子どもたちに介護に関心を持ってもらおうと、イベント「TEAM KAIGO」を開催しました。東京都品川区や同板橋区の区立中学生生徒が区内の介護施設で、高齢者との接し方や車いすの乗り方などを学習。重りを身に付けて高齢者を疑似体験し、高齢者の話を聞いたりしました。また、埼玉県蓮田市の施設では、2人の現役介護福祉士が仕事の実際について語り、仕事への理解を深めました。この模様は動画でも近日中に配信します。



「GO!GO!KAI-GO応援団Season2」YouTube番組配信中

テレビ朝日映像株式会社

公式アカウントはこちら
[GO!GO!KAI-GOプロジェクト](#)



福祉・介護に携わる人々を応援し、誰もが幸せになる未来を創造するため、国民的アナウンサー・福澤朗氏を中心に「GO!GO!KAI-GO応援団」を結成。福祉・介護の「楽しい!」「面白い!」を体当たりで発見していくプロセスをYouTube番組を通じて全国に発信しています。第3弾を11月上旬に配信予定です。

「TikTok」を使った若年層向けの情報発信

テレビ朝日映像株式会社

公式アカウントはこちら
[bouncy TikTokアカウント](#)



テクノロジー・ライフスタイル系メディア「bouncy」の公式TikTokアカウントにて、介護現場を支える最新テクノロジーやGO! GO! KAI-GO応援団のメンバーを取り上げたコンテンツを今後発信予定です。

介護のしごと魅力発信等事業の関連Webサイト・SNSアカウント (左から五十音順)

株式会社朝日新聞社

Web
サイト

これからのKAIGO
事業ポータルサイト



これからのKAIGO



Web
サイト

なかまある
Peatixアカウント



株式会社産業経済新聞社



ゆうゆうLife



Web
サイト

ゆうゆうLife



ゆうゆうLife



テレビ朝日映像株式会社



GO!GO!KAI-GO
プロジェクト



GO!GO!KAI-GO
プロジェクト



GO!GO!KAI-GO
プロジェクト



介護のしごと魅力発信等事業とは

全国的なイベント、テレビ、新聞、SNSを活かした取組等を通じて、全国に向けた情報発信を行うことにより、多くの国民が、福祉・介護の仕事についての理解・関心を高めるとともに、その仕事の魅力を感じられるようにすることを目的とする厚生労働省事業です。

※本ニュースレターは、厚生労働省補助事業「令和4年度介護のしごと魅力発信等事業（事業間連携等事業）」を活用してPwCコンサルティング合同会社が発行します。



発行者・お問い合わせ先

PwCコンサルティング合同会社
公共事業部

Email : jip_kai gomiryoku@pwc.com